

第896回 教育委員会会議録

日時	令和7年11月20日（木） 午後1時30分から午後2時15分まで			
場所	御殿場市役所東館201～203会議室			
出席者	1番 教育長	勝亦 重夫	2番 委員	勝又 英和
	3番 委員	勝又 俊行	4番 委員	萱沼 泉
	5番 委員	長田 光男	6番 委員	杉山 ゆかり

陪席者

教育部長	
教育総務課長	教育施設課長
教育施設課技監	学校教育課長
社会教育課長	図書館調整監
学校給食課長	西学校給食センター所長兼 高根学校給食センター所長
学校教育課主席指導主事	学校教育課課長補佐
社会教育課課長補佐	社会教育課課長補佐
学校給食課副参事	

事務局

教育総務課副参事	教育総務課主事
----------	---------

議事

御教議第37号 御殿場市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部改正について

開会

教育長

本日は委員5名の御出席をいただきておりますので、委員会は成立いたします。
ただ今から御殿場市教育委員会11月定例会を開会いたします。本日の委員会
は、お手元に配布の日程により進行いたしますので、御了承願います。
それでは会議録署名人の指名を行います。教育長の指名により決定することに
御異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

御異議がないようですので、こちらから指名いたします。

4番 萱沼 泉 委員 と、
5番 長田 光男 委員 にお願いします。

次に会期ですが、本日1日間といたします。
なお定例会終了後、委員会協議会を開催いたしますのでよろしくお願いします。

教育長

今年も残すところひと月余りとなりました。「二季」という言葉が話題になっていますが、秋の風情をほとんど感じることもなく冬の訪れを迎えてます。今年はインフルエンザの流行がかなり早く、小中学校では学級閉鎖がいくつか発生しています。感染症の防止には、なんといっても換気が大事なポイントになります。子どもたちには学校生活だけではなく、放課後の生活でも気を使えるよう指導する必要があります。

2学期は大詰めの時期に入ります。特に中学3年生は自分の進路について一生懸命考え、大いに悩んでいる時期です。自分の夢を実現できるように、目標に向けて前向きな気持ちになってくれることを願っています。昨年的小山高に続き、裾野高の定員が一学級減となることが公表されました。高校無償化が次年度より実施される状況の中、今後の公立高校の在り方が心配されます。

10月22日 市民大学講座 教育懇談会

教職員組合と教育懇談会を行いました。話題の中心となったのは、教員不足による厳しい学校現場の状況でした。委員会としても特に力を入れていきたい課題です。

10月23日 北駿音楽会 中学生の部

小中学生ともに、とても立派な姿で合唱を発表してもらいました。先生の指導の下、練習を積み重ねてきた成果を発揮でき、満足した表情の子どもたちが多かったです。

10月24日 北駿音楽会 小学生の部

10月26日 高根どんたく 御殿場地区婦人会70周年記念音楽会

高根どんたくには、子どもからお年寄りまで多くの参加があり、会場は大変盛り上がっていました。様々な人たちの交流が行われ地域の力を感じました。

10月27日 部長連絡会 定例記者会見 学校給食センター運営委員会

チェンバーズバーグ市姉妹都市65周年使節団出迎え・歓迎レセプション

姉妹都市締結65周年を迎え、チェンバーズバーグ市長をはじめとした、21人の使節団が御殿場市を訪問しました。

10月28日 市職員採用試験

10月30日 市校長会 校長会教育講演会

10月31日 指定研究発表会（御殿場小 東小 御殿場中）

「居心地のよい学校づくり」を目指して、御殿場中学校区3校で熱心に研究に取り組んでいただき、多くの学びが生まれました。

11月1日	青少年交流の家オープンハウス 刀剣展示会
11月3日	中学生駅伝県大会 御殿場市内から、県大会に男子2校、女子4校が出場しました。御殿場中女子が優勝し、見事全国大会に出場することになりました。全国大会でも実力が発揮できることを願っています。
11月4日	部長連絡会 なぎなた東日本大会出場者市長表敬訪問
11月5日	市町教育委員会研修会
11月6日	駿東3市3町幹部職員研修会
11月7日	管理者合同研修会
11月9日	御殿場愛郷報徳社文化祭 日本語で話す会 日本語で話す会では、6人（ベトナム籍2人、フィリピン籍3人、ブラジル籍1人）の発表がありました。日本生まれの子どもたちが増えました。
11月10日	部長連絡会 環境管理システム推進本部会 序議 男女共同参画社会づくり本部会 行革推進本部会
11月11日	市町教育委員会訪問 朝日小夢創造事業 朝日小学校出身で全国レベルの活躍をしているプロランナー吉田響さんが3年から6年を対象に「長距離教室」を開いてくれました。有名ランナーから走り方のコツを教えてもらい、子どもたちは大喜びでした。
11月14日	市議会全員協議会 冬山遭難防止対策会議 教育委員歓送迎会
11月16日	もみじ茶会 モラロジー生涯学習セミナー
11月17日	部長連絡会 教頭・主幹教諭・教務主任研修会
11月18日	指定研究発表会 （富士岡中） 「生徒の主体的な学びを引き出す単元を通した問題解決的な授業づくり」を研究主題に、2年間「授業改善」に取組んでいただきました。
11月19日	東部教育長会 園長会
11月20日	定例教育委員会

議事

教育長

それでは、はじめに事務局から一言お願ひします。

教育部長

改めましてこんにちは。

先日の歓送迎会ではありがとうございました。

令和7年10月31日から11月1日にかけて、全国報徳サミットが神奈川県秦野市で開催され、良知副市長に随行し参加をしてきました。御殿場市からは4つの報徳社から総勢70名の方が参加をされ、盛大に開催されました。

本日は、1件の議案を上程いたします。御審議の程、よろしくお願ひいたします。

御教議第37号

御殿場市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部改正について

教育長

それでは、御教議第37号「御殿場市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部改正について」を議題といたします。

社会教育課長

ただいま議題となりました御教議第37号について説明いたします。議案書2ページ及び御教議第37号資料をお願いします。御教議第37号資料の1ページをお願いします。

はじめに、1の地域学校協働活動推進員設置の目的ですが、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を推進するため地域と学校との間を円滑に繋ぐことを目的に設置するものです。

2の改正の背景ですが、当初の計画では、コミュニティ・スクールは中学校区ごとの導入が計画されており、足並みを揃える目的から地域学校協働活動推進員（以下、推進員）についても中学校区ごとに設置することといたしました。

しかし、それぞれの学校の地域性を加味し、令和7年度現在では高根中学校区を除く全てのコミュニティ・スクール導入校が学校毎での設置となっていることや、令和9年度に御殿場中学校区でコミュニティ・スクールがスタートし、市内小中学校への導入が完了する計画であることなどを鑑み、実態に即しつつ、「学校と地域の橋渡しをする役割、学校支援を通した地域のつながりづくり」といった、コーディネーターの役割を担う推進員をコミュニティ・スクールごとに配置できるよう、御殿場市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部改正を行うものであります。

次に、3の改正内容について、説明いたします。（1）の定数の改正について、御殿場市立の各中学校区に推進員を置くことができるとされていたものを、御殿場市立の小学校及び中学校の学校区に設置できるよう改めます。（2）の謝礼の改正について、国が定める「学校・家庭・地域連携協力推進事業補助金交付要綱に準じて」支払うことができるとされていましたが、これを削り、さらに同条の次に2項として「活動に要する経費に相当する額を予算の範囲内で支給することができる」を追記します。

次に、4の期待される効果ですが、学校において、授業の狙いに適した講師・サポートを確保できる・地域のことをよく知る推進員の調整により、地域学習が効果的に進められる・子どもたちは多様な地域住民とのコミュニケーションを経験できるとともに、地域への理解と愛着を深めることができることなどが、挙げられます。

5の財政的影響について、説明いたします。現行の定数は、市内の各中学校区につき2人以内の最大12名ですが、改正後は市立の小学校及び中学校の学校区ごとに2人以内とし、最大32名となります。

また、現行の謝礼は、1時間当たりの謝礼単価1,480円であり、令和7年度予算見込額は859千円です。改正後は、1時間当たりの謝礼単価1,480円は変わりませんが、県主催研修会出席に対する旅費等を想定し、令和8年度予算見込額は3,625千円となります。なお、補助金については、国、県の予算の範囲内で調整があります。

6の施行期日は令和8年4月1日になります。

そして、2ページには地域学校協働活動の概要、3ページには「コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的な推進」に係るポンチ絵、4ページには要綱の一部改正（案）、5ページには新旧対象表（案）を掲載しておりますので、後程ご覧ください。

最後になりますが、この地域学校協働活動推進事業につきましては、少子高齢化、人口減少、核家族化の進行、退職年齢の引き上げ、地域コミュニティの衰退、担い手不足など、地域を取り巻く状況が非常に厳しいものとなっている中、さらに地域の方々の負担を増やす可能性も大きいことから、事業の着手は教育委員会の長年の懸念事項となっていました。

しかしながら、社会構造が大きく変化している今だからこそ、「地域でまるっと子どもたちを育てる」という本事業に、学校を核とした地域社会全体が「当事者意識をもって取り組む」ことで、学校だけではなく「地域づくり」や「地域の未来の担い手づくり」といった好循環につなげるという視点にたって事業を推進するための要綱改正です。

令和9年度にすべての小中学校にコミュニティ・スクールを導入する機を捉えて、地域学校協働活動と一体的に推進するため、体制を整備するものです。また、本事業を持続可能な活動にしていくため、まずは既に地域と学校が協働で行っていることの洗い出し、ネットワークの見える化をした上で、「地域の特性に合わせた緩やかなネットワーク」を段階的に構築していくことを目指します。「学校が地域にお願いしたいことは何か」と、「学校は子どもたちの活動を通じて地域に何ができるのか」を問い合わせ、関係する方々の理解を得ながら事業を推進していきたいと考えています。

以上で説明を終わります。ご審議の程よろしくお願ひいたします。

教育長

ただ今、御教議第37号の内容説明がなされました。

本案について質疑を求めます。

長田委員

資料の「4 連絡会議の組織化」についてですが、学校運営協議会も含めてネットワークを作っていたいと思います。学校運営協議会は外からの意見が入ってきてづらいのが実状であり、それぞれ単体での組織化もある程度必要だとは思いますが、目指す方向は一緒であるため、合同の組織化もあれば良いかと思います。

社会教育課長

委員がおっしゃるようなところも確かにありますので、委員会内で検討してまいります。

萱沼委員

「活動に要する経費に相当する額を予算の範囲内で支給することができる」とのことでしたが、単価が増額する可能性があるのでしょうか。また、他市町村の単価はいくらなのでしょうか。

社会教育課長

補助金交付要綱上の単価設定の最大値で単価設定をいたしました。他の市町との比較という点では、1,000円や1,100円といった市町が多く、東部地区内では1,480円はトップクラスの単価であると考えています。財政状況も鑑みて、適正な単価で定めていきたいと考えております。

教育長

他に質疑がないようですので、本案を原案どおり承認することに御異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

御異議がないようですので、御教議第37号「御殿場市地域学校協働活動推進員設置要綱の一部改正について」を原案どおり承認することに決しました。

その他・閉会

教育長

他に皆さまから協議、確認事項等ございますでしょうか。

教育長

それでは他に無いようですので、以上で御殿場市教育委員会11月定例会を閉会といたします。

午後2時15分　閉会

会議録署名人

上記のとおり相違ないことを証明するため署名する。

4番委員

5番委員
